

## 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	坂町清水線整備事業	担当課	建設課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成27年度～令和 3年度
	施策	道路網・公共交通体系の整備	種別	法定+任意
	基本事業	都市計画道路の整備	市民協働	
予算科目コード	01-080405-02 補助	根拠法令・条例等	都市計画法, 土地収用法	

## なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
守谷駅を中心とした環状形を連絡する都市計画道路が決定されており、守谷駅周辺における円滑な交通の確保及び、通学路の安全向上を早期に図るため。	平成27年度新たにひがし野土地区画整理から本町地内の県営アパートまでの事業認可を取得した区間477mについて整備を進める。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
守谷駅周辺における円滑な交通の確保及び通学路の安全確保し、人の流れや物流にも大きな効果が期待できる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の移動がスムーズにできるよう、道路ネットワークとして計画されている都市計画道路の整備を進める。	

## 事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
本事業の区間は、現道と重複する路線である。現道は、守谷小学校の通学路となっているが、住宅地を通る歩道がない狭隘道路で、交通量も多いため危険な状況となっている。そのため早期に整備し、安全を確保する必要がある。 しかし、補助金の内示率が街路事業全体で4割程度と年々厳しい状況にあり、予算の確保が大きな課題である。また、境界等について了解を得られない地権者がいる。	国・県への要望活動・・・通年 地権者用地交渉・・・通年
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
事業予算確保のため国・県への要望を推進する。 土地開発公社を利用した用地の購入。 地権者交渉。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	守谷小学校の通学路の安全対策のため次年度は道路整備を行う。 土地開発公社により先行取得した用地を計画的に買い戻す。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
交通の利便性の向上、通学路の安全確保のため、補助金や土地開発公社を活用し、効率的に進めた。	通学路の安全確保及び交通利便性の向上のため、土地開発公社を効率的に活用し、用地買収を進めた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
整備済道路延長（m）	0.00	0.00	0.00	183.00	477.00
用地買収面積（累計）（㎡）	0.00	616.34	1,275.42	2,661.02	5,452.35
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	土地開発公社の活用により、用地取得の成果が向上している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	土地開発公社の借入金も上限に近づき、さらに国庫補助金の内示が厳しくなっているが、県への補助金要望を定期的に行い、用地買収・工事を効率的に進める。				

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	78,780	75,469	11,977	265,421	285,421
	国・県支出金	27,081	20,180	0	110,000	130,000
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	51,699	55,289	1,177	155,421	155,421
	一般財源	0	0	10,800	0	0
正職員人工数（時間数）		1,612.00	2,217.00	1,644.00	0.00	0.00
正職員人件費		6,609	9,090	6,864	0	0
トータルコスト		85,389	84,559	18,841	265,421	285,421

## 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	みずき野大日線整備事業	担当課	建設課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成27年度～令和 3年度
	施策	道路網・公共交通体系の整備	種別	法定+任意
	基本事業	都市計画道路の整備	市民協働	
予算科目コード	01-080405-04 補助	根拠法令・条例等	都市計画法, 土地収用法	

## なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
本市の東西方向を連絡する都市計画道路であり、守谷駅東側の環状線化を進めるとともに、駅周辺に集中する交通を効率的に分散させ、交通の円滑化、利便性及び安全性の向上を図る。	都市計画決定されたみずき野大日線（全延長2,900m 幅員16m）で、平成27年度に事業認可取得した守谷駅周辺区画整理事業区域境界から坂町清水線の交差点部の464m区間について整備を進める。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
守谷駅周辺における円滑な交通の確保及び通学路の安全確保する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の移動がスムーズにできるよう、道路ネットワークとして計画されている都市計画道路の整備を進める。	

## 事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
守谷駅と広域的な避難所である守谷小学校をつなぐ主要なアクセス道路であり、また、沿線現道が、守谷小学校への通学路となっているにも関わらず、歩道がなく大変危険な状況であるために、防災上、安全上においても早期の整備が求められている。  補助金の内示率が街路事業全体で4割程度と年々厳しい状況にあり、予算の確保が大きな課題である。	補助金の要望活動・・・通年
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
事業予算確保のため国・県への要望を推進する。	

## 次年度のコストの方向性（→その理由）

<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減	坂町・清水線を優先させるためにみずき野大日線については、H31年度は休止する。
--	---

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
補助金の採択率が低く、用地買収が行えなかった。	坂町清水線を優先的に進めるため、平成30年度の用地買収は行わなかった。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
整備済道路延長（m）	0.00	0.00	0.00	0.00	464.00
用地買収済面積（累計）（㎡）	0.00	290.85	290.85	290.85	6,532.04
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	坂町清水線を優先的に進める。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	坂町清水線を優先的に進めることとし、縮小方向へシフトする。しかし、補助金については、要望を継続し、採択率が上がれば、用地買収等を行う。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	14,764	37,942	0	0	0
	国・県支出金	0	9,850	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	14,764	28,092	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		797.00	540.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		3,268	2,214	0	0	0
トータルコスト		18,032	40,156	0	0	0

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	新守谷駅自由通路線整備事業	担当課	建設課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成28年度～令和元年度
	施策	道路網・公共交通体系の整備	種別	法定+任意
	基本事業	都市計画道路の整備	市民協働	
予算科目コード	01-080405-06 補助	根拠法令・条例等	都市計画法・土地収用法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>新守谷駅は、西側からのアクセスしかできず、東側に居住する地域住民にとって駅の利便性が悪い状況であり、東西の連携強化が求められている。また、隣接する小学校の児童は、歩道のない市道や踏切を通過して通学しており、非常に危険なことから通学路交通安全プログラムに新守谷自由通路線の整備が位置づけられている。</p>	<p>国庫補助金を有効に活用し、つくばみらい市、学校法人との3者の負担協定により整備する。工事規模、工事の性質から3年間の継続費により早期の供用を目指す。鉄道を跨ぐ工事であることから関東鉄道(株)への工事委託となる。 自由通路の概要は、延長90m、幅員3.5m。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>新守谷駅東側に居住する地域住民の利便性の向上、東西地区の連携強化及び通学路の安全確保。</p>	
(参考) 基本事業の目指す姿	
<p>市内の移動がスムーズにできるよう、道路ネットワークとして計画されている都市計画道路の整備を進める。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）							
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール						
<p>供用開始予定が平成30年度末になることから、遅延の無いよう工程管理を実施する必要がある。 また、3者負担による事業であることか、工事の進捗等情報共有を図る必要がある。</p>	<table border="1"> <tr> <td>H29年10月～12月</td> <td>国への要望</td> </tr> <tr> <td>H29年12月～H31年3月</td> <td>工程管理協議</td> </tr> <tr> <td>H31年3月</td> <td>供用開始</td> </tr> </table>	H29年10月～12月	国への要望	H29年12月～H31年3月	工程管理協議	H31年3月	供用開始
H29年10月～12月	国への要望						
H29年12月～H31年3月	工程管理協議						
H31年3月	供用開始						
改善内容（課題解決に向けた解決策）							
<p>定例工程会議を開催、つくばみらい市及び開智学園にも参加を依頼し、情報共有と工程の管理を徹底する。</p>							

次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度 of 取組（評価、課題への対応）
交通の利便性の向上を図るとともに、通学路の安全確保のため、早期の供用開始を目指し事業を進める。	関東鉄道と協定を締結、上部工が着手され、完了した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
整備率（事業費換算）（%）	0.00	26.08	96.02	100.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	新守谷駅東側に居住する地域住民の利便性の向上、東西地区の連携強化及び通学路の安全確保ができた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	歩道橋が完成し、付帯工事を行う。				

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	0	133,660	301,278	20,240	0
	国・県支出金	0	64,900	137,500	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	68,760	138,708	20,240	0
	一般財源	0	0	25,070	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	1,330.00	684.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	5,453	2,856	0	0
トータルコスト		0	139,113	304,134	20,240	0

## 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	西口大柏線整備事業	担当課	建設課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	年度～
	施策	道路網・公共交通体系の整備	種別	法定+任意
	基本事業	都市計画道路の整備	市民協働	
予算科目コード	01-080405-03	根拠法令・条例等	都市計画法・土地収用法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
都市計画道路であり、交通の円滑化、利便性及び安全性の向上を図る。	都市計画決定された、全延長920mについて整備を進める。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
円滑な交通の確保及び通学路の安全を確保する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の移動がスムーズにできるよう、道路ネットワークとして計画されている都市計画道路の整備を進める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
守谷駅への主要なアクセス道路であり、また、沿線現道が、黒内小学校への通学路となっているにも関わらず、歩道がなく大変危険な状況であるために、防災上、安全上においても早期の整備が求められている。	認可後は、補助金の要望活動を積極的に行う。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
認可後は、予算の確保が大きな課題である。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減	次年度は、先行買収の希望がないため。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
事業の執行なし。	先行買収の希望があり、用地買収を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
用地買収面積	0.00	0.00	401.00	401.00	401.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	買取り申し出により、用地取得。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	坂町清水線等の都市計画道路を優先的に進めることとし、先行買収の要望があれば適宜対応して行く。				

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	0	0	21,147	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	21,147	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	151.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	630	0	0
トータルコスト		0	0	21,777	0	0